

『私立高校』『専修学校』等 受験の心得

※このプリントはなくさずに、受験当日持っていくこと。

1. 試験前日

- ① 身体コンディションを整え、食事や睡眠時間は充分とって、平常通りに過ごす。
- ② 服装、頭髪・爪など、みだしなみを整えておく。
- ③ 受験する学校の「注意事項」をもう一度読み直し、ひとつひとつ確認しておく。
試験会場・交通経路・交通費・集合時間・試験科目・面接の有無・時間割・持ち物など

【持ち物の点検】 かばんに入れたら、□にチェックする。

- ☐ 受験票 (受験番号は別にメモしておく、注意事項を裏まで確認する)
- ☐ 筆記用具 (鉛筆/シャープペン3本以上(芯も)・消しゴム2個以上・直定規・コンパスなど)
- ☐ お金 (往復の交通費・電話代など)
- ☐ 高校から配られた注意事項のプリント (もらっているところのみ)
- ☐ うわばき(体育館シューズ)・クツ袋 (必要などところのみ: 今日持って帰る)
- ☐ 体操服・ゼッケン・絵具など必要なもの (実技試験で必要などところのみ)
- ☐ 防寒着 (手袋・マフラーなど)
- ☐ 時計 (アラームを切っておく、計算機能のあるものは不可)
- ☐ ハンカチ・ティッシュ
- ☐ 常備薬・マスク (必要な場合)
- ☐ お弁当・水筒 (午後からも試験等があるところのみ)
- ☐ 「面接に関するプリント」(面接練習時のもの) (面接があるところのみ)
- ☐ 生徒手帳
- ☐ この「受験の心得プリント」
- ☐ そのほか、受験校で指定されているもの

☆スマホ・携帯電話の持参に関して、必ず保護者と各高校の注意事項を確認する。
すべての私立高校の注意事項が同じとは限りません。ご注意ください。

2. 試験当日

- ① 前日は遅くまで勉強せず、早く就寝し、翌朝は充分に余裕をもって起きる。
 - ② 朝食は必ず摂る (温かく消化の良いもの、水分など摂りすぎない)。軽く体を動かしておく。
 - ③ 持ち物をもう一度点検する。
 - ④ 受験会場には、集合時間の30分前には到着しておく。(開場時間も確認する)
 - ⑤ 公共交通機関(電車やバス)を利用する。【土・日・祝はダイヤが変わるので注意する】
(公共機関であれば、事故などでダイヤが遅れても「遅延証明書」で証明できる。)
 - ⑥ 自家用車やタクシーは、かえって遅くなる場合があるので避ける。
 - ⑦ 自転車は使用しない。最寄り駅までも自転車では行かない。
 - ⑧ 友人と待ち合わせをしても、決まった時間までに来なければ、1人でも出発する。
 - ⑨ 途中、事故やトラブルに巻き込まれて遅刻しそうな時は、中学校に連絡して指示を受ける。
 - ⑩ 受験票を忘れた時は取りに帰らず、「高校の先生」に「受験番号」を伝えて指示を受ける。
- ☆ とにかく、時間に間に合うように受験会場に行くことが最重要です。

緊急時の連絡先：大阪市立淀川中学校 (06) 6928-0001

公衆電話が見つからない時は、駅やお店で電話を貸してもらいましょう。

3年 _____ 組 _____ 番 名前 _____ 受験番号 _____

3. 試験会場で

- ① 掲示物や放送内容に充分注意し、確認する（〈試験・面接とも〉集合・点呼の時間と場所など）。
- ② 緊張するのは当たり前。無理に落ち着こうとせず、自分が緊張していることを確認する。
- ③ 試験中に気分が悪くなったら、すぐに手を挙げて監督の先生に申し出る。
- ④ 休憩時間はトイレにしておく。終了した試験の答え合わせをせず、次の教科のことを考える。

4. 試験について

- ① 試験官の「始め」の指示があれば、すぐに受験番号・名前を記入する。
- ② 問題用紙の裏面にも問題がないかを確認する。
- ③ 問題全体に目を通して、できる問題からはじめる。
- ④ 問題文・設問をしっかりと読み、指示にしたがった解答をする。文字はていねいに書く。
- ⑤ 記号問題はもちろん、記述問題、わからない問題も、必ずすべて記入する。
- ⑥ 時間配分を考えて問題に取り組む。
- ⑦ 時間が余れば何度でも見直す。寝ない。「終了」の合図で、すぐに鉛筆を置く。
- ⑧ 不正(カンニング)と誤解されないよう、紛らわしい行為(お喋りする・筆記具の貸し借り等)しない。
- ⑨ 質問がある場合は、静かに手を挙げてたずねる。

5. 合格発表について

- ① 可否結果の発表方法を確認する。（郵送、ホームページでの確認など。）
- ② 可否について、高校に電話等での問い合わせはできない。
- ③ 普段どおり授業を受けて下校し、郵送結果を確認する。
- ④ 合格の場合 … 可否や特待の通知書は翌日学校に持ってきて、担任の先生にみせること。
- ⑤ 不合格の場合 … 次どうするかを決めるため、中学校へ電話ですぐ報告する。

※2月11日(水・祝) (休み中) の電話連絡はしない。

2月11日に不合格がわかった場合、2月12日(木)朝、登校後すぐに担任の先生に伝える。

(1.5次入試の出願が12日から始まるため。受験校の決定、検定料納付など出願の準備あり。)

- ⑥ 結果発表後の手続きは期限内に正確に行う。

登校日・手続き等が遅れると、「入学資格」を失うこともあるので、

日時や準備物(入学金など)・手続きの方法などを十分に確認し、各家庭の責任で行うこと。

併願者は、公立高校の可否結果がでた後の手続きの締め切り日・時間まで確認しておく。

<確認事項>

- ① 家を出るまでのトラブル(寝坊、発熱、体調不良など)・・・中学校へ電話し指示をあおぐ。
- ② 家を出てからのトラブル(体調不良、ケガ、忘れ物など)
・・・配慮が必要な場合は高校の先生に申し出る。
- ③ 遅刻しそうな場合・・・最も早く確実な方法で試験会場へ行く。
着いたら、高校の先生の指示をあおぐ。
- ④ 試験会場での体調不良・・・各受験校の先生に相談して、指示にしたがう。
- ⑤ 試験会場へむかう時から、自宅に帰るまで、各自が個人の責任で行動する。
- ⑥ 終了後は、寄り道をせず自宅に帰り、翌日の準備をする。(中学校へ連絡する必要はない)
- ⑦ トラブルへの対応は、自分だけで判断せず、先生に相談する。

・試験会場や行き帰りで、他の受験生(他校生)とのトラブルを起こさない。

・一般の方にご迷惑をかけない。

・試験が終わり家に帰るまで、気を引き締める。事故などに気をつける。